

○ **東京海上日動 ペーパーレスで自動車保険申込手続き完結 12 月から（20/10/8 保毎）**

- ・ 12 月から「オンライン商談手続き」を導入 ウェブ会議アプリを使って提案、説明、申込手続きをオンラインで、シームレス・ペーパーレスに完了させる
保険金支払いもオンライン化して全ての手続きをペーパーレスで完結
対象は自動車の新規・更新から
- ・ 提案・説明後、URL を送付、案内された QR コードや URL にスマホでアクセスして手続きを行う
- ・ 車検証や口座書類等必要な確認書類はスマホで撮影し、データで送付 書類はクラウド上で管理し、不足がないか AI が判定 口座書類もネット化 記名、捺印、送付を不要として不備を解消
- ・ 年 1600 万件ある紙を伴う手続きを電子データに切り替え、23 年度にペーパーレス化を目指す
- ・ 今後火災保険をはじめ他の種目にも順次拡大 代理店の非対面の提案力を強化し、顧客への新たな価値体験の提供・CX の向上につなげていく
- ・ 顧客の状況に応じるため紙の対応も残す

○ **Chubb 損保社長にディエゴ・ソーサ氏が就任（10/1 付）**

- ・ Chubb Brazil の統括を行っていたソーサ氏がベネット氏の後任として就任
日本市場における損害保険事業全ての管理監督責任を負う
ベネット氏は Chubb Life のチーフ・オペレーティング・オフィサーに就任
- ・ ソーサ氏は Chubb とエースでの合計 13 年間を含め、25 年以上にわたり保険および金融事業界に従事、Chubb 入社前は QBE（オーストラリアの保険グループ）のメキシコとエクアドルの地域総括

○ **東京海上 HD 石炭火力新規引受・投融資を停止（20/10/13 保毎）**

- ・ 「気候変動に対する当社の基本的な考え方」を公表（注：先に公表した損保ジャパンの後追い）

○ **楽天損保 火災保険ネットで安く（20/10/13 日経朝）**

- ・ 21 年 1 月から住宅向け火災保険をネットで契約した場合対面より 1 割安くする
災害多発で契約コスト削減が求められる中、コロナ禍を機に導入
代理店型の保険会社では初の取り組み
- ・ 災害多発で火災保険料は上昇を続けており、ネット割引を活用して契約者の負担を抑える
代理店での相談後のネット契約も対象（注：手続きをネット化する）
既存損保の火災保険料が上昇を続ける中、ネット損保の保険料は低水準で、値上げのたびに保

陰の見直しが増えている状況を受けて、競争が激化している

○ SOMPO データ解析で経営判断支援（20/10/13 日経朝）

- ・ SOMPOHD と米パランディア・テクノロジーズはヘルスケアや金融業界を中心に DX（デジタルトランスフォーメーション）のニーズを取り込み、企業や政府のデータ活用を後押し
- ・ SOMPO は同社に 500 億円を出資し、2019 年からデータ解析サービスを販売
他社にはまねできないノウハウを活かし、社会に求められる解を提供する
（注：パランディアは 9 月 30 日に NY 証券取引所に上場しましたが、この際、新株を発行せず、既存株主の保有株式を取引所に登録する「直接上場」（ダイレクトリスティング）を選んで大きな話題になった会社です。上場時の時価総額は 1.6 兆円超。直接上場することで会社のカルチャーを維持したと言われています。日本の DX は世界的に見れば大きく遅れをとっており、今後急速に市場が拡大していくと言われています）

○ 三菱 UFJ 銀行 全店で来店予約可能に コロナ対策で（20/10/13 YaHoo ニュース）

- ・ 三菱 UFJ 銀行は窓口がある国内の本支店や出張所計 428 カ所で、来店日時を予約できるサービスを導入 12 月 1 日以降の来店が対象
コロナ感染防止策として店内の混雑を緩和し、待ち時間を減らす狙い
- ・ 11 月 2 日から HP で予約受付 電話でも対応可
対象は個人や法人による新規口座開設や住所変更などの手続き
手続きに時間がかからない入出金や振り込みは対象外

○ 新車価格「高い」6 割（20/10/14 日経調査）

- ・ 消費者の 6 割が新車は「高い」と感じ、先行き不安で 14% が購入取りやめ、3 割が先送り
- ・ コネクテッドカーや EV による価格上昇は 1 割しか容認しない一方、衝突回避ブレーキなど安全面強化の値上げは 5 割超が容認
- ・ 国産車の新車価格の平均は 10 年対比で 57 万円（3 割強）増加
小型車の平均価格は同期間で 95 万円（8 割）高の 217 万円、軽は 35 万円（3 割）上昇
- ・ 自動車各社は世界で強まる環境規制対応費用が年々増加しており、研究開発費は年間売り上げの 3 ～ 5 % を占めるようになっており、価格への転嫁が避けられない状況
- ・ 価格に対する消費者の納得感を得なければ、車を「保有する」ことを避ける消費者が増える可能性あり（注：都市部を中心に「保有から使用」への流れが今後加速すると見られています）

○ 損保ジャパン 脱・年功序列 課長昇進、20 代も可能に（20/10/14 NHK・日経朝）

- ・ 役割等級を 5 から 3 に再整理し、等級ごとの在任年数の目安も撤廃
早く 40 代前後だった課長昇進を 20 代でも可能に 昇級の手順も減らす
能力や実力に応じてスピード昇格を可能にする

特命課長、業務課長、副長など複数のポストを廃止 1 万人の肩書を変える

グローバル、エリアの区分による昇格方法の差も撤廃

生活様式に合った働き方を選びやすくし、転勤を受け入れる社員には「転勤プレミアム」として賃金を上乗せ

自動車の事故調査の専門職も管理職昇格の要件としていた全国転勤の条件を撤廃

大手企業が全社的に年功序列にメスを入れるのは珍しい

- ・ 金融業は IT との融合で大変化に直面しており、実力ある若手の登用が迫られている
三井住友銀行は既に最短 30 歳で管理職に就けるようにしている

○ 金融庁 金融機関の行政手続き 来年度に完全電子化(20/10/15 日経朝)

- ・ 約 1800 種類ある銀行、保険、証券からの申請、届出を 2021 年度中に全てオンライン化
金融機関には顧客との取引の電子化を促す 押印は原則廃止
保険では、代理店登録や使用人届等が電子化される
金融機関の作業コストを低減し、顧客サービス向上に役立てるようにする
- ・ 現在 9 割が紙で提出 電子化により休日も申請を受け付ける海外との差は大きく開いており、デジタル化を加速させて遅れを取り戻す

○ トヨタファイナンス ほけんの窓口グループと提携 保険販売参入 (20/10/16 日経朝)

- ・ ほけんの窓口グループの支援を受け、一般個人向け保険代理店事業を開始
生命保険を含む幅広い保険商品の販売ノウハウを蓄積
- ・ 将来的には全国のトヨタ系ディーラーでの保険販売支援につなげる

○ 三井住友海上 デジタル人材育成 (20/10/20 日経朝)

- ・ 約 5,000 人の営業担当社員にデータ分析研修開始 全社的にデジタル人材の育成に取り組む
- ・ 21 年から保険営業の他、自動車事故や自然災害のデータ販売もできるよう再教育を行う
- ・ メーカーに比べて理系社員が少ない総合商社も DX 対応のため、文科系社員の知見不足を解消する教育に注力

住友商事 AI でどのような市況予測や故障検知モデルがつかれるかを学ぶ

年度内に 1,000 人、最終的に全社員に受講させる

三菱商事 「IT・デジタル研修」を新設 ロボット工学、AI、DX をオンラインで学ぶ

DX を活用した企画立案や注意点を学ぶ

丸紅 「デジチャレ」という名称の文系社員向け実践研修を開始

数年かけて数式づくりやデータ収集などが実際に行えるようにする

商品価格の予測モデルや自然言語解析を使用した消費者の行動解析などができるように教育する (注：根っからの文系人間にはなかなかつらい時代が来ました・・・)

以上